

典礼のしおり

0 Domingo
PANIB 発行

Z 38
13 · 09 · 2026

年間第二十四主日

今日の典礼において、私達は神の国の新しい命を祝うように、善良で慈しみ深い主に招かれています。神の国は、和解と赦しを生きようとするすべての人々に示されます。イエスは深い恨みや憎悪が私たちの心にあつてはならないことを要求します。すべての人が人類への愛から死に渡され、そして復活した彼に属しているからです。

入祭唱

主イエス・キリストの十字架のほかに私たちには誇るものがない。キリストのうちに、救いと命と復活がある。

栄光の賛歌

集会祈願

聖なる父よ、あなたは人類の救いのために、御ひとり

子が十字架をになうようお定めになりました。十字架の神秘を信じる私たちが、永遠にその勝利にあずかることが出来ますように。聖霊の交わりの中で、あなたとともに世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。

※朗読の解説

今日の聖書朗読は、許しの必要性と、すべての人々との共生について私たちに教えています。御父なる神から遣わされたイエスは、命の泉、救いの道です。

シラ書（シラ 27・33〜28・9）

憤りと怒り、これはひどくいまわしい。罪人にはこの両方が付きまとう。復讐する者は、主から復讐を受ける。主はその罪を決して忘れることはない。

隣人から受けた不正を赦せ。そうすれば、願い求めるとき、お前の罪は赦される。人が互いに怒りを抱き合っているながら、どうして主からいやしを期待できようか。自分と同じ人間に憐れみをかけずにいて、どうして自分の罪の赦しを願えようか。弱い人間にすぎない者が、憤りを抱き続けるならば、いったいだれが彼の

罪を赦すことができようか。

自分の最期に心を致し、敵意を捨てよ。滅びゆく定め

と死を思い、掟を守れ。

掟を忘れず、隣人に対して怒りを抱くな。いと高き方の契約を忘れず、他人の落度には寛容であれ。

答唱詩編○典 93○1 ○3 ○4

(詩編 103・3+4、8+13、11+12)

全 心を尽くして神をたたえ、

すべての恵みを心に留めよう。

神はわたしの罪をゆるし、

痛みをいやされる。

わたしのいのちを危機から救い、

いっくしみ深く祝福される。

全 心を尽くして神をたたえ、

すべての恵みを心に留めよう。

神は恵み豊かに、あわれみ深く、

怒るに遅く、いっくしみ深い。

父が子どもをいっくしむように、

神の愛は、神をおそれる人の上にある。

全 心を尽くして神をたたえ、

すべての恵みを心に留めよう。

天が地より高いように、

いっくしみは神をおそれる人の上にある。

東と西が果てしなく遠いように、

神はわたしたちを罪から引き離される。

全 心を尽くして神をたたえ、

すべての恵みを心に留めよう。

使徒パウロのローマの教会への手紙 (ローマ 14・7・9)

「皆さん、」わたしたちの中には、だれ一人自分のために生きる人はなく、だれ一人自分のために死ぬ人もいません。わたしたちは、生きるとすれば主のために生き、死ぬとすれば主のために死ぬのです。従って、生きるにしても、死ぬにしても、わたしたちは主のものです。キリストが死に、そして生きたのは、死んだ人にも生きている人にも主となられるためです。

アレルヤ唱

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

新しいおきてをあなたがたに与える。互いに愛し合いなさい、わたしがあなたがたを愛したように。

アレルヤ、アレルヤ、アレルヤ。

マタイによる福音（マタイ 18・21―35）

そのとき、ペトロがイエスのところに来て言った。

「主よ、兄弟がわたしに対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。そこで、天の国は次のようにたとえられる。ある王が、家来たちに貸した金の決済をしようとした。決済し始めたところ、一万タラントン借金している家来が、王の前に連れて来られた。しかし、返済できなかったので、主君はこの家来に、自分も妻も子も、また持ち物も全部売って返済するように命じた。家来はひれ伏し、『どうか待ってください。きつと全部お返しします』としきりに願った。その家来の主君は憐れに思つて、彼を赦し、その借金を帳消しにし

てやった。ところが、この家来は外に出て、自分に百デナリオンの借金をしている仲間に出会うと、捕まえて首を絞め、『借金を返せ』と言った。仲間はひれ伏して、『どうか待ってください。返すから』としきりに頼んだ。しかし、承知せず、その仲間を引っぱって行き、借金を返すまでと牢に入れた。仲間たちは、事の次第を見て非常に心を痛め、主君の前に出て事件を残らず告げた。そこで、主君はその家来を呼びつけて言った。『不屈きな家来だ。お前が頼んだから、借金を全部帳消しにしてやったのだ。わたしがお前を憐れんでやったように、お前も自分の仲間を憐れんでやるべきではなかったか。』そして、主君は怒つて、借金をすっかり返済するまでと、家来を牢役人に引き渡した。あなたがたの一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、わたしの天の父もあなたがたに同じようになさるであらう。」

信仰宣言

共同祈願

司・兄弟姉妹の皆さん、慈しみ深く憐れみ深い主に信

頼をこめてわたしたちの祈りを捧げましょう。

全・主よ、私達に愛と、許しを教えてください。

1. 教会が常に父のような存在であり、信徒が聖体拝領にあずかることで、慰めを見出し、それが寛大な癒しとなり、弱い者の場所となるよう主に祈りましょう。

全・主よ、私達に愛と、許しを教えてください。

2. 統治者や公共候補者は、公共の利益を築くための好ましい環境づくりに関心を持ち、すべての人々が尊厳ある生活を送れるよう保障することに尽力するように、祈りましょう。

全・主よ、私達に愛と、許しを教えてください。

3. デジタルメディアを利用するキリスト者が、人々の間に敬意を育み、恨みや不和を広める誘惑に負けないように祈りましょう。

全・主よ、私達に愛と、許しを教えてください。

4. 家族全員の間で対話、許し、そして互いを尊重し合う関係が育まれますように。

全・主よ、私達に愛と、許しを教えてください。

司・愛と慈悲に満ちた主よ、私たちの祈りを聞き入れ、御子を通してあなたの赦しの深さを知ることが出来るよう、私たちを導いてください。私たちの主キリストによって。

全・アーメン

奉納祈願

全能の神よ、わたしたちの祈りに^{みみ}耳を^{かたむ}傾け、この^{そな}供えものを受け入れてください。あなたをたたえて一人ひとりのささげるものが、すべての人の救いに役立つものとなりますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

拝領祈願

い^ひつくし^{せき}み深い神よ、今受けた秘跡^{はたら}の働きによって、心もからだもあなたのものでしてください。わたしたちが自分の思いではなく、いつもあなたの導きに従うことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。